

第 51 回全日本実業団ハーフマラソン大会

【出場結果】

実施日 : 2月12日(日)

コース : 山口循環ハーフマラソンコース(維新みらいふスタジアム スタート・フィニッシュ)

出場者 : 親崎 達朗 小林 航央 坪井 響己

リザルト:

	親 崎	小 林	坪 井
タイム	1:03'55" 自己ベスト 新電元歴代3位	1:03'52" 自己ベスト 新電元歴代2位	1:03'31" セカンドベスト (新電元記録保持者)
順位	76位/185名	73位/185名	65位/185名

※男子団体の部(上位3名の記録) 18位

【レポート】

今年度もシーズン終盤に差し掛かり、チームとして出場する駅伝にも区切りがつき、選手達はマラソンやロードレースの大会を目指して冬場の走り込みを行ってきました。

今回は走り込みの成果を確かめる目的で、山口県山口市で開催された第51回全日本実業団ハーフマラソン大会に3名の選手が出場しました。

本大会は、全国の強豪実業団選手がこぞって出場するハイレベルな大会となり、当社からは11月に開催された上尾シティハーフマラソンで新電元記録(1時間3分18秒)を更新した坪井を始め、親崎、初ハーフマラソン出場となる小林の3名が、1時間2分~3分台のタイムを目指しレースに臨みました。

当日は、風も無く比較的温かい絶好のコンディションとなり好記録の予感が漂いました。



序盤からチーム内では最上位でレースを進める坪井

ハーフマラソンのコースは前半の3~5 kmにかけて上り坂となりますが、10 km過ぎからは下り基調となるため、例年好タイムが続出するコースです。

当社選手達は入りの5 kmを14分50秒~15分05秒で通過、1時間3分台を目指すには理想的なペースでレースを進めました。



スピードランナーの小林も冷静に1 km3分ペースを刻む



1時間3分台を目指して序盤から落ち着いた走りをする親崎

その後の10 km通過は3選手ともに30分前後のペースで通過し、後半の走り次第では目標とする2時間2分台~3分台が狙える位置で確実にレースを進め、15 km通過まで1 km3分平均のペースを維持し、3選手とも最後まで粘りのある走りを見せ、坪井は11月にマークした自己記録には13秒届かないものの1時間3分31秒でゴール、初ハーフマラソンとなる小林は1時間3分52秒、親崎が1時間3分55秒と次々ゴールし、3選手全員が1時間3分台の好記録をマークしました。



自己記録更新を目指して最後まで集団に食らいつく坪井



初ハーフマラソンの中、冷静にピッチを刻む小林



1時間3分台を目指し、ひたすらに前を見据える親崎



新電元歴代上位記録の更新おめでとう！！

【総 評】

今回ハーフマラソンに出場した3選手全員が1時間3分台をマークし、当社の歴代上位記録を更新する好結果を残してくれました。

昨年秋に開催された東日本実業団対抗駅伝ではチームとして悔しい走りとなってしまいましたが、その悔しさをバネに冬場の走り込みで力を蓄えたことで、今回の結果に繋げることが出来たと感じております。

今回、初ハーフマラソンとなった小林は1500mのスペシャリストですが、チーム内で実力のある加藤、親崎、坪井の3選手と比べても遜色の無い距離を1人黙々と走り込み、今回の結果に繋げてくれたことは、来年度の東日本実業団対抗駅伝に向けて大きなプラス材料となりました。

今回は出場を見合わせた加藤も、3月5日に予定される東京マラソン2023に向けた練習を継続しており、当日の活躍が期待されます。

東京マラソン2023の様子はフジテレビ系全国ネットで生放送されますので、皆さまのご声援を宜しくお願い致します。

まだまだ寒い日が続きますが、チーム一同、体調管理を第一にして日々のトレーニングに邁進して参ります。

引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。

以 上